

平和の情報発信を大阪から!!



2022年3月7日

Q 万博を契機とした大阪からの平和の発信について質問。被爆地長崎の城山小学校にある「嘉代子桜」は当時15歳で亡くなった林嘉代子さんのお母さんが平和のシンボルとして全国に苗木を配られるようになりました。このような平和の連帯として全国では、1,650の自治体が非核平和宣言を行っており、世界では約8,000の都市が恒久平和を目指す平和首長会議に加盟しています。SDGsの目標「平和と公正をすべての人に」の実現を目指すには、大阪・関西万博の開催地大阪から平和の発信強化が必要であると質問しました。

A 国際平和センター(ピースおおさか)を拠点にして、大阪府内市町村との連携の強化や国内外のネットワークの活用を図り、大阪から一層の平和情報の発信に取り組む。



川岡は、大阪経済を時代の前へ! そして強くもうかる大阪経済を実現します。

2022年3月7日



Q 万博に向けた大阪府の気候変動に対する情報発信。カーボンニュートラル実現に向けた動きと中小企業の参入拡大。そして、脱炭素化分野における中小企業への技術開発等の支援について質問しました。



A 中小企業が、水素・燃料電池や蓄電池などの分野において、大手中堅企業が求める開発案件の中で、マッチングするプラットホーム機能を強化し、ビジネスチャンスを拡大していく。



木津川新水門(津波対策)
が本格スタート(R12)2030
年に新水門完成予定です。

●「浪華丸」と元「なにわの海の時空間」の有効活用を質問しました。民間に売却をすすめた後も、大阪・関西万博に活用するよう求めました。

